

まちの話題



キクバリ大作戦



夏の交通事故防止運動が7月21日から31日まで行われました。

21日の推進セレモニーの後にタイヨー大口店前で街頭キャンペーン「キクバリ（気配り）大作戦」が行われ、5団体、約100人が参加しました。運転者にキクやチラシ等を手渡し安全運転を呼びかけました。

円盤投げでインターハイ出場



6月に熊本県のえがお健康スタジアムで行われた円盤投げの高校総体予選で、大口明光学園3年生の谷口詩音さんが3位入賞しました。記録は37.39 mです。

今大会で自己新記録を更新し、7月29日から8月2日まで山形県で行われた全国大会へ出場しました。

アツい1日 伊佐市夏祭り



7月29日、大口中心商店街で夏の恒例イベント「伊佐市夏祭り」が開催されました。祭りは市内幼稚園・保育園などが参加したお神輿パレードからスタートし、暑さに負けない大きな掛け声に沿道からは声援がおくられました。



ステージショーではチームちむどんがオープニングをつとめ、市内外6チームのダンスバトルと一般参加のそうめん早食い対決で大盛り上がり。夜の総踊りでは、それぞれ個性豊かな衣装の踊り手34団体1,450人が参加し、来場者と一緒に楽しみました。

日本の國酒応援プロジェクト グランプリ受賞



日本航空株式会社（JAL）が実施した「日本の國酒（九州本格焼酎）応援プロジェクト」で大山酒造合名会社の「伊佐大泉」が芋焼酎部門のグランプリを受賞しました。

応募があった42蔵元、76銘柄のうち芋・黒糖・その他の3部門で審査員による選考が行われ、グランプリ・準グランプリに選ばれた6銘柄は、JAL国際線ファーストクラスラウンジ等で提供されます。

8月22日に行われた授賞式では、6社を代表して大山酒造の杜氏、山下昭悟さんが「これを機に本格焼酎を一人でも多くの人に知ってもらい、飲んでいただけるように頑張りたい」とあいさつしました。

青年農業会議で優秀賞



7月20日から21日まで熊本県で「九州・沖縄地区青年農業会議」が行われました。

鹿児島県代表として出席した橋口勇士さん（築地）は、県の子牛育成マニュアルを改良した「橋口マニュアル」について発表し、プロジェクト発表の部で優秀賞（2位）を受賞しました。

橋口さんは3月に東京都で行われる全国青年農業者会議に出場します。

全国空手道選手権大会 3位入賞



7月30日、鹿児島アリーナで行われた少林寺流錬心館第47回全国空手道選手権大会（中学生型の部）において、林高翔さんが3位入賞しました。

今大会は全国だけでなくアメリカ・台湾の選手も出場し、小学校低学年から一般まで約900人が型・組試合で競い合いました。

第9回伊佐市戦没者追悼式



今年も8月15日終戦の日、伊佐市文化会館で戦没者追悼式が挙行されました。

遺族や市の関係者など約150人が参列し、ラジオ放送の正午の時報に合わせ、1分間の黙とうを捧げました。式典では伊佐市遺族会の代表らが平和への思いを述べた後、参列者全員で献花を行いました。

終戦72年目を迎え、遺族の高齢化が進むなか、参列者の中には小学生の姿も見られました。先の大戦を知らない若い世代に、戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継いでいくことが必要です。

新規就農者 励ましの会



7月25日、大口ふれあいセンターで「ニューファーマーのつどい」が開かれました。

今年度は5人が就農し、伊佐市の農業の未来を担う農家としての意気込みを語りました。

<写真左から・敬称略>

田中義幸・美和（上松） 水稻・根深ねぎ

久保仁（湯之元） 根深ねぎ

徳田大士（上目丸） タバコ・根深ねぎ

中村翔平（小川内） 畜産・水稻

<写真なし>

小原春美（富ヶ丘） 畜産・かぼちゃ

(株)工営エナジーからご寄附



新曽木水力発電所の運営を行っている株式会社工営エナジーから、観光や小・中学校の学習等に関する地域貢献費として多額の寄附をいただきました。ありがとうございます。

同社と伊佐市は平成23年に「曾木の滝再生可能エネルギー創出事業」実施協定を結んでおり、平成25年からは毎年寄附をいただいています。

8月9日に、吉田克己代表取締役社長から市長へ目録が手渡されました。

ヒガンバナ見頃情報！



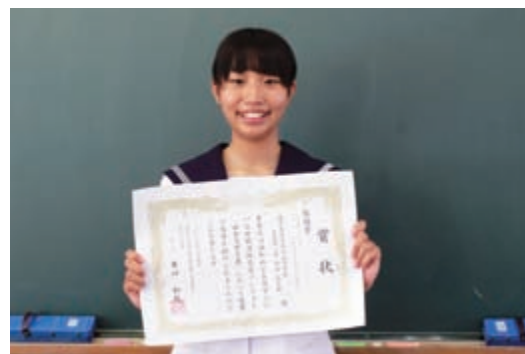
9月下旬頃、針持と大田（写真）の農道でヒガンバナが見頃を迎えます。どちらも周辺の田んぼが黄金色に色づき、より一層秋らしい景色をご覧ください。ぜひ散策してみてください。

<場所>

針持：針持駐在所を過ぎた先の農道

大田：国道268号を水俣方面に進み、郡山八幡神社入り口の手前約100mを左折

田舎力甲子園で奨励賞



京都府の福知山公立大学が行っている、全国の高校生から地域活性化策のアイデアを募集するコンテスト「田舎力甲子園」において、大口高校2年生の時田菜美姫さんが奨励賞を受賞しました。

時田さんは「Cows save our hometown!」と題して、牛を活用した地域活性化について提案しました。

「祖父母の家で牛のお世話を手伝いながら実験した。今回調べて分かったことをこれからに生かしたい」と学校での課題研究や地域活性化へ意欲を話しました。